

令和6年度
宮崎県学校図書館教育研究大会
県北大会研究紀要

大会主題

「豊かな心と学びを育む学校図書館」



美郷町 御田祭



日向市 クルスの海



延岡市 愛宕山からの夜景



高千穂町 真名井の滝

期 日 令和6年8月8日(木)

会 場 延岡市カルチャープラザのべおか
延岡市社会教育センター

宮崎県学校教育研究会図書館教育部会

あいさつ

宮崎県学校教育研究会図書館教育部会
会長 有田勝則

この度、県内各地より多くの皆様のご参加をいただき、令和6年度宮崎県学校図書館教育研究大会県北大会を開催できますことについて心より感謝を申し上げます。

さて、今後の学校図書館の活用の在り方につきましては、新学習指導要領総則の中で、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童・生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実する」ことがうたわれております。また、特別活動の学級活動の中で、一人一人のキャリア形成と自己実現のために「現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しを立て、振り返ること」と明記されており、自己実現を図る上でも図書館等を活用する重要性がうたわれています。

また、学校においては、このような図書館教育に期待されている役割が最大限に発揮できるようにすることが重要であり、学校図書館が児童・生徒にとって落ち着いて読書を行うことができる、安らぎのある環境や知的好奇心を醸成する開かれた学びの場としての環境として整えられるように努めることが大切であると考えられます。平成28年11月に文部科学省より出された「学校図書館ガイドライン」においても、「学校は、学習指導要領等を踏まえ、各教科等において、学校図書館の機能を計画的に利用し、児童・生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実するよう努めることが望ましい。」とされ、校長のリーダーシップの下、学校図書館に関する全体計画に基づき、教職員が連携して、計画的・組織的に学校図書館の運営に当たっていくことが求められています。

そのような中、これまで本学校図書館部会では、学校図書館の役割の充実や各校における読書活動の推進に向け、県内各地区で、様々な研究や取組を行ってまいりました。今回の県北大会では、大会主題を「豊かな心と学びを育む学校図書館」として掲げ、6つの分科会を設定し、学校図書館の活用や各校における読書活動の推進、地域や関連機関との連携等の視点から各地区の発表とそれに伴う協議を行います。これらを通して、今後、県内各学校図書館の活用と児童生徒の読書活動の充実がさらに図られますことを心より願っております。

最後に、本大会の開催に当たり、準備や大会の運営にも携わっていただいている開催地区の関係者の皆様、忙しい中、研究を進めてくださった発表者の皆様に心より、お礼を申し上げます。加えて、これまでご指導・ご支援を賜りました宮崎県教育委員会、延岡市教育委員会、日向市教育委員会、その他関係の皆様方に深く感謝を申し上げ、あいさつといたします。

令和6年度 宮崎県学校図書館教育研究大会県北大会

1 期 日 令和6年8月8日(木)

2 会 場 延岡市カルチャープラザのべおか(宮崎県延岡市本小路 39 番地 | 電話 0982-34-6549)
延岡市社会教育センター (宮崎県延岡市本小路 39-1 電話 0982-22-7032)

3 主 催 宮崎県学校教育研究会図書館教育部会

4 後 援 宮崎県教育委員会 延岡市教育委員会 日向市教育委員会 五ヶ瀬町教育委員会
門川町教育委員会 美郷町教育委員会 諸塚村教育委員会 日之影町教育委員会
椎葉村教育委員会 高千穂町教育委員会

5 大会主題 「豊かな心と学びを育む学校図書館」

6 大会趣旨

学校図書館は、児童生徒の読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能、学習活動を支援したり授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする「学習センター」としての機能を有している。また、児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする「情報センター」としての機能も有している。さらに、学校図書館には変化する社会情勢を踏まえ、「児童生徒の心の居場所」、「家庭・地域における読書活動への支援」等の機能を果たすことも求められており、「教員の授業改善や資質の向上」の観点からの重要性も踏まえ、学校図書館が果たすべき役割は年々、多様化が進んでいるといえる。

現在、宮崎県は「読書県づくりの推進」を掲げ、行政、地域、図書館、学校、家庭等が連携を図りながら全県的な取組を行っている。

このような中、本研究大会では今後の学校図書館のあるべき姿、読書教育の在り方等について協議を深めることで本主題に迫っていきたいと考える。

7 日程

時間	13:00 ~13:30	13:30 ~13:50	14:05 ~ 16:05	16:05 ~16:15
分	(30)	(20)	(120)	(10)
内容	受付	開会行事	研究発表・研究協議 (休息を含む)	閉会行事
会場	延岡市カルチャー プラザのべおか	延岡市カルチャー プラザのべおか ハーモニーホール	延岡市社会教育センター	延岡市社会教育 センター

8 分科会 (14:05~16:05)

分科	協議題	発表者	司会者	記録者	指導助言者
第1分科会	A 魅力的な学校図書館づくり	加納小学校 教諭 本田妃佐喜	北方学園 教頭 金澤由紀子	北方学園 教諭 松本 沙織	県教育庁北部教育事務所 指導主事 大田川真志
		穂北中学校 教諭 中里美紀			
第2分科会	B 学習情報センターとしての学校図書館の活用	通山小学校 教諭 佐野志織	土々呂中学校 教頭 大石 彰	東小学校 教諭 村田 葵	県教育庁中部教育事務所 指導主事 有田 雅代
		永久津中学校 教諭 松下良子			
第3分科会	C 学校における読書指導	山之口小学校 教諭 梅元杏華	東小学校 教頭 上米良 剛	南方中学校 教諭 舟津 淳子	県教育庁南部教育事務所 指導主事 前田 雅樹
		西岳中学校 教諭 稲元 愛			
第4分科会	D 特別支援教育における読書活動	学校図書司書 多田明子	恒富小学校 教頭 武田啓宏	南中学校 教諭 中田 晃喜	県教育庁北部教育事務所 指導主事 緒方 宏文
		南郷中学校 教諭 外林義朗			
第5分科会	E 学校司書・司書教諭の役割	国富小学校 教諭 河野歩美	西小学校 教頭 島 和	黒岩小学校 教諭 木下奈緒子	県教育庁義務教育課 指導主事 川崎 優也
		広瀬中学校 教諭 有田桂子			
第6分科会	F 地域・家庭・公共図書館との連携	北川小学校 教諭 泉美麻里	東海東小学校 教頭 黒木正大	緑ヶ丘小学校 教諭 甲斐由利子	県教育研修センター 社会教育主事 楠本 将夫
		島野浦学園 教諭 甲斐聖佳			
		宮崎商業高校 教諭 厚地晃子			

【分科会の時間配分】

	進行 説明	発表1 (質疑含む)	発表2 (質疑含む)	発表3 (質疑含む)	休息	協議	指導 講評
第1~5 分科会	14:05~	14:10~	14:35~	/	15:00~	15:10~	15:55~
	14:10	14:35	15:00		15:10	15:55	16:05
第6 分科会	14:05~	14:10~	14:30~	14:50~	15:10~	15:20~	15:55~
	14:10	14:30	14:50	15:10	15:20	15:55	16:05

県北大会 発表者一覧

	研究項目・内容	発表者	ページ
第1分科会	「魅力的な学校図書館づくり」 ～各学校における読書指導の実践を通して～	宮崎市立加納小学校 (日向市立財光寺南小学校) 教諭 本田妃佐喜	5～6
	「魅力的な学校図書館づくり」 ～豊かな心と学びを育む学校図書館～	西都市立穂北中学校 教諭 中里 美紀	7～8
第2分科会	「学習情報センターとしての学校図書館の活用」 ～教科の学習内容を深めるための 学校図書館利用を通して～	川南町立通山小学校 教諭 佐野 志織	9～10
	「学習情報センターとしての学校図書館の活用」 ～学習情報センターとしての学校図書館の活用～	小林市立永久津中学校 教諭 松下 良子	11～12
第3分科会	「学校における読書指導」 ～学校における読書指導を通して～	都城市立山之口小学校 教諭 梅元 杏華	13～14
	「学校における読書指導」 ～1年間を見通した計画的な読書指導を通して～	都城市立西岳中学校 教諭 稲元 愛	15～16
第4分科会	「特別支援教育における読書活動」 ～競い合う読書から認め合い・学び合う読書へ～ Well-being 特別支援教育の視点で、 学校図書館の機能をONにする	(株) 共立ソリューションズ 学校図書司書 多田 明子	17～18
	「特別支援教育における読書活動」 ～特別支援教育の視点に立った読書指導の充実～	日南市立南郷中学校 (日南市立北郷小中学校) 教諭 外林 義朗	19～20
第5分科会	「学校司書・司書教諭の役割」 ～図書主任の役割と学校司書との連携の在り方～	宮崎市立国富小学校 教諭 河野 歩美	21～22
	「学校司書・司書教諭の役割」 ～図書主任の役割と読書活動アシスタント との連携の在り方～	宮崎市立広瀬中学校 教諭 有田 桂子	23～24
第6分科会	「豊かな心と学びを育む学校図書館」 ～地域・家庭・公共図書館との連携を通して～	延岡市立北川小学校 教諭 泉美 麻里	25～26
	「豊かな心と学びを育む学校図書館」 ～地域・家庭・公共図書館との連携を通して～	延岡市立島野浦学園 教諭 甲斐 聖佳	27～28
	「地域・家庭・公共図書館との連携」 ～「本」に関わるボランティアを通して～	宮崎県立宮崎商業高等学校 教諭 厚地 晃子	29～30

第5分科会 「学校司書・司書教諭の役割」

～図書主任の役割と学校司書との連携の在り方～

宮崎市立国富小学校 教諭 河野 歩美

1 はじめに

宮崎市図書主任会は、小学校48校、中学校27校、合計75校で構成され、小学校には学校司書の配置があり、中学校には読書活動アシスタントが配置されている。各学校で図書主任と学校司書・読書活動アシスタントとが協力しながら読書活動の推進を行っている。

2 主題設定の理由

令和5・6年度は、児童生徒の読書活動推進のために、各学校での図書主任の役割と学校司書・読書活動アシスタントとの連携の在り方について研究を進めた。ここでは、小学校図書主任と学校司書の連携の在り方についての研究について述べる。

3 研究目標

宮崎市内小中学校の図書主任と学校司書・読書活動アシスタントとの連携をさらに深め、各校の読書活動の充実を図る。

4 研究の仮説

各学校の図書主任と学校司書との連携についての現状を捉えるとともに、実践について出し合うことで、各校の読書教育推進に役立てることができるであろう。

5 研究の実際

(1) 事前アンケートの実施

宮崎市図書主任会では、各学校図書主任と学校司書へのアンケート調査を実施した。
(令和5年6月実施)

① 図書主任へのアンケート (項目)

- 学校司書との連携・相談・協議などを行う時間
- 図書館活用の年間計画・図書館教育全体の作成
- 職員の図書館研修の実施 (予定を含む)
- 学校司書の支援による、ティーム・ティーチング (T・T) の授業

② 学校司書へのアンケート (項目)

- 図書主任との連絡・相談・協議などを行う時間
- 図書主任との連携の充実度及び具体的な連携の取り方

(2) 具体的な実践

アンケートの各項目の具体的な実践例として次の内容が挙げられた。

① 具体的な連携の取り方

小学校の図書主任は、学級担任であることが多いため、様々な方法を取りながらお互いの連携を行っている。

- | | |
|--------------------------|------------|
| ○日誌、付箋、メモ用紙等を活用した連絡、情報交換 | ○委員会の時間の活用 |
| ○図書主任の学級の読書の時間 | |

② 図書館教育全体計画・年間計画・図書館研修の活用

各学校では、図書館教育全体計画・年間計画・図書館研修計画などが策定され、学校司書とも連携を取りながら各計画の推進を図っている。

- 授業や単元に関連する本の準備、調べ学習に必要な本の準備、活用
- 授業等に関する本の公立図書館との連携
- 行事に合わせた本の準備、選定（愛鳥週間、命の週間など）

- ③ 学級担任と学校司書とのチーム・ティーチング
学級担任と学校司書とのチーム・ティーチングによる指導も行っている学校も多い。

- 年度初めの図書館利用に関するオリエンテーションの実施
- 授業の中での「読み聞かせ・ブックトーク・アニメーション」の実施
- 国語辞典、百科事典の使い方に関する授業でのT・T

また、授業への協力として次の内容が挙げられている。

- 授業で使用する関連図書の選定、貸出 ○市立図書館との連絡
- レファレンス（相談体制）の充実 ○パスファインダーの紹介

- ④ 教育活動のコーディネート
図書主任の役割として、図書主任がコーディネート役として、学校司書と他の職員との連携をとることも役割の一つである。
- ⑤ 図書主任・学校司書・読書活動アシスタント合同研修会の実施
令和5年度は、宮崎市教育員会の協力により、7月に各学校図書主任と学校司書・読書活動アシスタントとの合同研修会を実施した。読書推進のための手立てを考える機会となった。

(3) 事後アンケートの実施

研究の振り返りを行うために、再びアンケートを行った。その結果は次のとおりである。（令和6年2月実施）

- 本年度の「連携」について
図書主任の回答結果は、学校司書と「連携できている」という肯定的な回答の割合が90%以上である。また、学校司書の回答結果は、図書主任と「連携できている」という肯定的な回答が90%を超えている。5月よりも、「連携できている」とする割合が増えている。

6 成果と課題

(1) 成果

- アンケートを実施したことにより、「連携」についての現状や悩み、今後の見通しなどについて確かめることができた。また、年度末にもアンケートを実施し、その変容を見ることができた。
- 他校と協議を行うことで、他校の実践を知ることができ、取り入れられる実践は積極的に取り入れていこうという気持ちをもてた。

(2) 課題

- 今後、どのように連携の充実につなげていくかについてはこれからも実践を通してよりよい連携の在り方を模索していかなければならない。

7 おわりに

今回の研究を通して、図書主任と学校司書の連携の在り方について、再度見直すことができた。連携の方法等を考え、自校に合った方法を取り入れ、児童の読書活動の推進を図っていきたい。

第5分科会「学校司書・司書教諭の役割」

～図書主任の役割と読書活動アシスタントとの連携の在り方～

宮崎市立広瀬中学校 教諭 有田 桂子

1 はじめに

宮崎市図書主任会は、小学校48校、中学校27校、合計75校で構成され、小学校には学校司書の配置があり、中学校には読書活動アシスタントが配置されている。各学校で図書主任と学校司書・読書活動アシスタントとが協力しながら読書活動の推進を行っている。

2 主題設定の理由

令和5・6年度は、児童生徒の読書活動推進のために、各学校での図書主任の役割と学校司書・読書活動アシスタントとの連携の在り方について研究を進めた。ここでは、中学校図書主任と読書活動アシスタントとの連携の在り方についての研究について述べる。

3 研究目標

宮崎市内小中学校の図書主任と学校司書・読書活動アシスタントとの連携をさらに深め、各校の読書活動の充実を図る。

4 研究仮説

各学校の図書主任と読書活動アシスタントとの連携についての現状を捉えるとともに、実践について出し合うことで、各校の読書教育推進に役立てることができるであろう。

5 研究の実際

(1) 事前アンケート調査の実施

宮崎市図書主任会では、各学校図書主任と読書活動アシスタントへのアンケート調査を実施した。（令和5年6月実施）アンケートの各項目の具体的実践例として次の内容が挙げられた。

① 連携の方法について

読書活動アシスタントは週15時間の勤務であるので、各学校とも様々な工夫を行い、連携を図っている。

活用例…日誌、図書ノート、連絡ノート、パソコン、通信機器等の活用

② 図書館活用の年間計画・図書館教育全体計画について

年間計画等については、およそ7割の学校で作成されている。

記入項目例…図書館担当、学級文庫の配置、利用計画、オリエンテーション予定

③ 職員の図書館研修について

図書館研修では「図書館教育部会での研修内容の報告」「夏休みの蔵書点検の職員での実施」等を行っている。

④ 読書活動アシスタントとのティーム・ティーチング授業について

「中学1年生へのオリエンテーション（図書館のきまり・システムなどの説明）」

「選書や完成したPOPの掲示のサポート」などが挙げられている。

(2) 図書主任としての具体的実践

図書主任として「教育活動コーディネート」「情報リテラシー」「新聞の活用」についてどのような活動を行っているか出し合った。

① 教育活動コーディネート

各学校の図書主任は、生徒の読書活動の推進に向けて努力している。

また、読書活動アシスタントと連携を取りながら、日々の業務に取り組んでいるが、学校全体を見通した活動も行うように心がけている。

② 情報リテラシー

図書館利用の際に、資料を探している生徒には読書活動アシスタントからのアドバイスを行っている。

③ 新聞の活用

新聞の活用では、各学校でさまざまな工夫を行い、生徒に少しでも現代社会の情勢について知ってもらうために努力している。

活用例…新聞掲示台の作成、見やすい場所への配置、教科での活用

(3) 読書活動アシスタントの授業での連携

読書活動アシスタントとの授業での連携として、1年生への図書館オリエンテーションがある。具体例として次のような内容になる。

- 読書活動アシスタントは資料準備を中心として実施した。
- 事前準備での打ち合わせをしっかりと行い、手順を確認した。
- 当日も一緒に授業に臨み、授業者の補足を行ったり、グループ活動で生徒へのアドバイス等を行ったりした。

(4) 図書主任・学校司書・読書活動アシスタント合同研修会の実施

令和5年度は、宮崎市教育員会の協力により、7月に各学校図書主任と学校司書・読書活動アシスタントとの合同研修会を実施した。図書主任と読書活動アシスタントとが普段なかなかじっくりと話し合うことができないこともあり、この機会を利用していろいろな話をする事ができた。

(5) 事後アンケートの実施

研究の振り返りを行うために、再びアンケートを行った。その結果は次のとおりである。(令和6年2月実施)

- 図書主任の本年度の「連携」に対する回答結果…「できている」という肯定的な回答は66%である。一方、28%の学校が「以前も今もあまり連携できていない」という回答が見られた。
- 読書活動アシスタントの「連携」に対する回答結果…「できている」という肯定的な回答は88%であった。「できていない」とする回答は今回は9%であり、6月の18%から改善されてきた。

6 研究の成果と課題

研究を通して、次のような成果と課題が挙げられる。

(1) 成果

- 図書主任及び読書活動アシスタントへアンケートを実施したことにより、「連携」についての現状や悩みについて知ることができた。
- 図書主任の役割や連携の方法について各校の実践を挙げたことで、他校での取組について知ることができ、自校の読書活動の推進の参考にできた。

(2) 課題

- 読書活動アシスタントとの連携については「時間のなさをどのように補うか」が大きな要因であるので、自校に適した方法を使いながら、さらなる連携の充実を図っていきたい。

7 おわりに

中学生の不読率を下げることは、大きな課題であると思われるので、今後もさらに読書活動アシスタントと連携しながら、学校の読書活動推進のために工夫をしていきたい。